

# 木曾川文化圏市町 合併協議会だより

最終号

平成16年10月31日



おすすめスポット《各務原市》  
村国座「子供歌舞伎」

編集・発行／木曾川文化圏市町合併協議会〈各務原市・川島町〉

〒504-8555 岐阜県各務原市那加桜町1丁目69番地(各務原市役所4F)

Tel:0583-83-1900 Fax:0583-83-1264 E-mail:soumu@gappei-krcb.jp

# 廃置分合（合併）の 総務大臣告示を報告

## 第16回合併協議会を開催



合併協議会は19カ月間に計17回開催された  
＝各務原市産業文化センター第1特別会議室で（第17回）

第16回合併協議会が8月12日、各務原市産業文化センター8階第一特別会議室で開催されました。

この日は、「廃置分合の告示」「常備消防体制」など4件の報告事項の後、「合併協議会の廃止」議案が、原案どおり承認されました。

### 報告事項

#### 廃置分合の告示について

各務原市と川島町の廃置分合（合併）について、平成16年7月26日に総務大臣から告示されたことが報告されました。

#### 常備消防体制について

川島地区の常備消防を新市に引き継ぐ日程を、「羽島郡広域連合の解散と同時」から「平成17年4月1日」にしたことが報告されました。

これは、笠松町と岐南町が岐阜広域合併協議会を脱退したことにより、羽島郡広域連合の解

散を前提としていた当初の調整方針を、部分的に修正したものです。

#### 保健事業の取扱いについて

調整方針で「今後調整を図る」となっていた、川島地区における各種保健事業の取扱いの調整が終わりまりましたので、その内容が報告されました。

#### 選挙の取扱いについて

新市における川島地区の選挙（投票所・期日前投票所・不在者投票所）については、当分の間、川島町の現行のとおりとすることが報告されました。

## 協議会としての役目を終える 第17回合併協議会を開催

第17回合併協議会が10月11日、各務原市産業文化センター8階第一特別会議室で開催されました。当初は9日に開催予定でしたが、台風22号による悪天候のため、この日に延期となり

### 協議事項

木曾川文化圏市町合併協議会の廃止について

木曾川文化圏市町合併協議会を平成16年10月31日をもって廃止することが承認されました。

◇ ◇

協議終了後、事務局から、合併準備事務や合併PR事業などの進捗状況と、今後の合併関連行事について説明がありました。また、第17回合併協議会を10月中旬に開催する予定であることが報告されました。

ました。

当日は、「平成16年度事業実施状況」「歳入歳出決算見込」の2件の報告事項があり、協議会としてのすべての協議を終えま

平成16年度木曾川文化圏市町合併協議会事業実施状況について

両市町の合併を推進するために、平成16年度、合併協議会で実施した事業、あるいは実施中である事業が報告されました。

①会議の開催

詳細は次のとおりです。

- ・合併協議会の開催（3回）
- ・幹事会の開催（3回）
- ・専門部会・分科会の開催（653回）

②調査研究に関する事業

- ・例規一元化業務の推進
- ・合併準備事務等の調査研究及びその推進

③広報広聴に関する事業

- ・合併協議会だよりの編集・発行（3回）
- ・ウェブサイト（ホームページ）の管理・運営
- ・市民ガイドブック（川島地区向け）の編集・発行
- ・合併PR用ポスターの作成・掲示（500枚）
- ・横断幕・懸垂幕の作成・掲示（両市町各2カ所）
- ④その他
- ・その他、合併推進のために必要な事業の実施
- ・他地域からの視察、研修対応

平成16年度木曾川文化圏市町合併協議会歳入歳出決算見込について

平成16年度合併協議会決算見込

込について、事務局から報告がありました。

まず歳入に関しては、当初予算額が1200万3千円、補正により273万3千円増額し、予算現額が1473万6千円。そして最終収入見込額は1473万4383円となっています。次に歳出に関しては、当初予算額が1200万3千円、補正により273万3千円増額し、予算現額が1473万6千円。そして最終支出見込額は450万99790円となっています。これにより歳入歳出の歳入総額が1473万4383円、歳出総額が450万99790円、差引1022万4593円が、協議会解散後、そのまま新市（各

●表紙のことは  
おすすめスポット《各務原市》

村国座  
「子供歌舞伎」

各務原市各務おがせ町の村国神社では、毎年10月第2土曜日、豊作や一家の安寧を祈願する例大祭が行われます。江戸時代から始まったと伝えられ、現在も地元の人々によって続けられています。祭りの大きな特徴は、地区の子供たちによる歌舞伎が奉

納されること。村国神社境内には明治10年ごろに完成した（こけら落としは明治15年）舞台建築「村国座」が今でも残っています。舞台と観客席を備えた、農村歌舞伎舞台として、国の重要有形民族文化財に指定されています。

今年も10月9、10の両日、この舞台を使い、地区の小学4～6年生が歌舞伎を、小学校低学年生が新舞踊を披露。多くの観客から、やんやの歓声が上がっていました。

務原市）へ返還されることとなります。この中には前年度からの繰越金273万4千円も含まれています。

協議終了後、事務局から、今後の合併関連行事予定などについて説明がありました。

合併までの経緯

《平成14年》

- 11月13日 川島町が各務原市に合併協議の申し入れ
- 12月3日 各務原市と川島町で合併協議会準備会を設置
- 12月27日 川島町で「合併に関する住民説明会」を開催

《平成15年》

- 1月27日 「木曾川文化圏市町合併任意協議会」を設置
- 4月1日 「木曾川文化圏市町合併協議会」を設置
- 4月10日 第1回木曾川文化圏市町合併協議会を開催。合併憲章を制定。（この後、平成16年10月11日までに計17回の合併協議会を開催）
- 6月25日 第3回合併協議会で、合併の方式、新市の事務所の位置、財産の取扱い等を決定
- 7月31日～8月15日 「各務原市と川島町の新しいまちづくりに向けたアンケート調査」を実施
- 11月1日 第8回合併協議会で、合併の期日、新市の名称を決定

《平成16年》

- 2月4日 第13回合併協議会で、新市建設計画を決定
- 2月17日 川島町で「合併協議の住民報告会」を開催
- 2月21日 各務原市で全自治会長への合併協議の報告と意見交換会を開催
- 2月25日 各務原市・川島町合併協定調印式
- 3月19日、26日 川島町議会、各務原市議会が、合併関係議案を可決
- 3月30日 岐阜県知事へ廃置分合申請書を提出
- 7月8日 岐阜県議会で合併関係議案を可決。岐阜県知事による市町廃置分合処分決定および総務大臣届出
- 7月26日 総務大臣告示
- 10月19日 川島町閉町式
- 10月29日 川島町役場閉庁式
- 10月31日 合併協議会を解散
- 11月1日 新各務原市誕生



## 合併協議会からのお知らせ

### ありがとうございました。

平成16年10月31日をもちまして、木曽川文化圏市町合併協議会は解散します。約1年半にわたっての、協議会だよりやホームページのご愛読、ありがとうございました。またこの間、多くの方からご意見、ご提言をお寄せいただきました。重ねてお礼申し上げます。

### 会議資料や会議録は閲覧できます。

今までに合併協議会で配布された資料や会議録、新市建設計画、協議会だよりなどは、11月以降も閲覧することができます。市役所3階、企画財政部企画政策課でとりまとめてありますので、ご覧になりたい方はお問い合わせください。

合併協議会のホームページは、当分の間、アクセスが可能ですので、こちらも参考にしてください。

<http://www.gappei-krcb.jp/>



合併協議会事務局職員

## あ・と・が・き

人心掌握術のようですね。

(N・M)

過ぎてしまえば…文字どおり「あつという間」の23カ月。理想的な合併を目指し、両市町の職員は(日常業務をこなしながら)よくやっただと思う。11月1日、協議会の職員もそれぞれ新天地へ異動となる。この経験を生かし、また新たな気持ちでがんばってほしい。窓の外はすっかり秋。暑かった夏を耐えた分、美しい紅葉を期待したい。

(K・M)

小学校の卒業アルバムに書いた言葉は「大地に爪あとを残せ」だった。たぶん自分の発想でなく、何かからの引用だっただろう。公務員になったとき、この言葉を思い出した。羽島郡での合併協議会から数えて約四十カ月、合併の仕事に携わった。紆余曲折あったが、各務原市との合併も目の前に来ている。合併協議会事務局の一員として、わずかながらでも爪あとを残すことができただろうか。

(K・I)

ずつと走ってきました。一つプロジェクトが無事に目的を達成します。蚊取線香の煙、灯油の補給など季節の節目を思い出します。我々はここを去り、それぞれ新しい仕事に携わります。途中、助けられたいるる人何人か恩返しをと思今日この頃です。それには、不得意なことを手探りしていくことより、自分の得意とするところで勝負していきたいなあ。どこかの優勝チーム監督の

平穩無事と思われた木曽川文化圏市町合併協議会第17回(最終回)で波瀾の予感が…これは、協議内容とかではなく、台風22号が開催予定日に直撃するかも、ということとで合併協議会「事務局内」が災難に見まわられたり見まわれなかったり。結局、台風は来なかったものの開催日をずらす羽目に…。開催日当日は、なかなか良いお天気でした。

(H・E)

「社会の窓」が開けっ放しになっていて恥をかくことがあります。たいしては、自分で気付いてこっそり閉め直すのですが、まれに人から指摘されます。日々注意して閉めているはずなのですが、気が付くと「開放状態」になっていることがあり、とても不思議です。ところでどうして「社会の窓」などというのでしょうか。大きな謎です。

(H・M)

リサイクルショップ巡りにハマっています。こんなものまで売っているのか!という驚き、早く手に入るとい魅力さから、車で街を走っていても無意識に看板に目がいつてしまいます。数ある品物の中から、掘り出し物を探し当てる!まるで宝探しです。…と言う私も協議会解散後はリサイクルされ、新たな職場で働くこととなります。

(J・O)